

〔和爾雅三〕身シヌル體死シヌル略〇中 大夫曰卒

〔釋名八釋喪制〕大夫曰卒言卒竟也

〔令義解九喪葬〕凡百官身亡者〇中 五位以上及皇親稱卒

〔日本書紀二天武十九〕元年五月癸丑大錦上坂本財臣卒

〔續日本紀五元明〕和銅四年閏六月乙丑中納言正四位上兼神祇伯中臣朝臣意美磨卒

〔續日本紀十聖武〕神龜五年十月壬午僧正義淵法師卒

〔海人藻芥〕大中納言以下卒去

〔和爾雅三身シヌル體〕死シヌル略〇中 庶人曰死

〔令義解九喪葬〕凡百官身亡者〇中 六位以下達於庶人稱死

〔日本書紀二天武十九〕八年三月丙戌兵衛大分君稚見死

〔續日本紀十六聖武〕天平十八年六月己亥僧玄昉死

〔伊呂波字類抄志〕死〇亡

〔續日本紀七元正〕靈龜元年十月丁丑陸奥蝦夷第三等邑良志別君宇蘇彌奈等言親族死亡子孫數人

常恐被狄徒抄略〇下

〔古今著聞集十五宿執〕京極大相國宗藤原輔原つねにの給けるは死去は人のをはり也つゝゐとしてのがれ

ざる理り也死におゐてはくゆべからずたゞし一事忍びがたき事有死して後ながく笛をとる

べからざる事をとぞ侍りける

〔御文章四〕當時コノゴロコトノホカニ疫癘トテヒト死去スコレサラニ疫癘ニヨリテハジメテ

死スルニハアラズ生レハジメシヨリシテサダマレル定業ナリサノミフカクオドロクマジキ

コトナリ